

令和8年8月7日

関係機関等の長 各位

九州大学大学院人間環境学研究院
都市・建築学部門
部門長 末廣 香織

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門は、学部（工学部建築学科）において建築学の広範な専門領域に対する教育を担い、大学院（人間環境学府都市共生デザイン専攻および空間システム専攻）にて建築学をベースとして人間環境学府・研究院が目指す文理融合の研究・教育を実践しています。

気候変動、人口減少、AIの台頭など、社会環境が急速に変化する中、今後の建築分野を担う人材を育成する大学には、従来の固定的な学問領域にとらわれず、変化に柔軟に対応し、将来大きく発展し得る新たな領域を積極的に開拓することが求められています。当部門では、環境の視点から新たな都市・建築の在り方を問う研究・教育・実践の場として BeCAT（環境をテーマにした建築研究教育センター）を設置し、これを中核に据えた設計教育の改編と組織の拡充に取り組んできました。さらに、実務家教員と研究者が共同で主宰する「デザインエンジニアリング学研究室」を立ち上げ、実務の最前線から得られる課題や経験を研究・教育に反映し、学生が学問と実務の連続性を感じながら将来像を描ける環境を整備しています。

この度、同研究室および BeCAT の体制を強化・拡充するため、建築デザインと相乗効果を生む専門性を有し、大学外での実務を継続しながら新たな領域を開拓する実務家教員を、クロスアポイントメントにより公募することとしました。

つきましては、本公募についてご周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしくお取り計らいいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集人員 准教授1名（クロスアポイントメント* エフォート50%を予定）
*クロスアポイントメント＝クロスアポイントメント制度とは、研究者等が複数の大学や公的研究機関、民間企業等の間で、それぞれと雇用契約を結び、業務を行うことを可能とする制度。
2. 所 属 都市・建築学部門 計画環境系講座
3. 人材像 建築デザインと相乗効果を生む専門性（例えば、環境、構造、構法、材料、デジタルファブリケーション、リノベーション、都市等）を有し、両者を掛け合わせた実務を通して、既存の専門分野にとらわれない新たな領域を開拓してい

る実務家。実務の最前線から得られる課題・知見を教育および研究に還元し、多様な研究者・実務家教員と協働して、建築設計および社会実装プロジェクトに展開できる人材。

4. 業務内容
- ・「デザインエンジニアリング学研究室」の運営を担うとともに、大学院および学部における研究指導を担当する。また、建築デザインと自身の専門分野との相乗効果を生かし、既存の専門分野の枠組みにとらわれない新たな研究・実践領域の開拓を推進する。
 - ・BeCAT の運営に参画し、BeCAT が取り組む社会実装プロジェクトの企画および実施を担当する。また、実務を通じて得られる課題、知見および人的ネットワークを、大学における教育・研究活動へ還元する。
 - ・当部門の教員らと連携し、大学院および学部における建築設計演習ならびに関連授業科目の一部を担当するとともに、部門の教育、研究および運営に関する業務を担う。

なお、上記の業務は、クロスアポイントメント契約に基づき、全体の 50%に相当するエフォートの範囲で行うものとする。具体的な担当内容および分担については、採用後に協議の上決定する。

5. 着任時期 令和 9 年 4 月 1 日以降できるだけ早い時期
6. 勤務形態 常勤（テニュアトラック）クロスアポイントメント
- 任期 5 年間（在任期間中の研究・教育実績によりテニュア（任期なし）への審査を行います。）
- 全体の 50%にあたる日数の勤務形態とする（詳細は協議して決定する）
7. 応募資格
- ① 博士の学位を有すること（取得見込みを含む）、または修士の学位に加えて 3 年以上の研究・実務業績を有すること
 - ② 建築デザインと相乗効果のある他の専門性を掛け合わせた建築設計、社会実装、研究開発等の実務実績を有すること
 - ③ 設計教育における指導ができること
 - ④ 日本語と英語による研究・教育指導ができること
 - ⑤ 大学外での実務活動を継続しながら、クロスアポイントメント*による勤務が可能であること
 - ⑥ 勤務契約期間には九州大学伊都キャンパスに通勤できること
8. 待遇
- (1) 待遇は国立大学法人九州大学就業通則・国立大学法人九州大学職員給与規程等の本学の規程、および本務先機関とのクロスアポイントメント協定等による。給与、勤務時間、社会保険等は、従事比率および具体的な勤務形態を踏まえて決定する。
- 勤務時間：同意に基づき、専門業務型裁量労働制を適用し、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなす。

休日：原則、土・日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

（休日勤務が生じる場合がある。）

加入保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

就業場所：大学院人間環境学研究院（福岡市西区元岡 744）

（変更の範囲：変更なし）

受動禁煙防止措置の状況：敷地内全面禁煙

(2) 待遇に関する問い合わせ先

九州大学人文社会科学系総務課人事係 jbsjinji@jimu.kyushu-u.ac.jp

(3) 参考情報 九州大学規則集：

<https://www.kyushu->

[u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf_list/2](https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf_list/2)

10. 選考方針 選考においては、応募資格に加えて下記の事項を勘案する。

① 設計教育や社会実装プロジェクトの実施・運営について実績を有すること

② 建築デザインと相乗効果のある専門性を掛け合わせ、新たな領域を開拓していること

③ 優れた研究・実務の業績と社会的評価を有すること

④ 専門分野以外にも十分な理解と関心を有し、多様な研究者・実務家教員と協働して、新領域の教育研究活動に意欲的に取り組むことが期待できること

⑤ 研究教育に加えて、産学連携活動、国際交流活動にも積極的であること

11. 提出書類 ① 履歴書（書式自由）

住所・電話番号・メールアドレス・写真を含む

② 業績書（書式自由、A4 用紙）

作品、著書、査読付き論文、国際会議発表論文、総説、特許、受賞、学協会等の社会活動、教育経験など

③ 主要な研究・実務業績の概要（書式自由、A4 用紙 1 ページ以内）

業績書の査読付き論文、作品などから主要なものを 3 件程度

④ 上記③の根拠資料

⑤ これまでの教育研究活動（設計教育やプロジェクト運営を含む）の実績と着任後の構想（書式自由、A4 用紙 2 ページ以内）研究、教育、実務、社会活動について、項目別にこれまでの実績と着任後の構想を記載すること。また、いずれかの項目に関連して、他者と協力して各種プロジェクト（補助金事業や共同設計など）を運営した経験があれば記載すること

⑥ 助成金等、外部資金の獲得実績（書式自由、A4 用紙）

研究課題、年度、金額、助成団体を明記したもの（代表・分担の別を明記）

⑦ 本人に関する意見を聞くことのできる方 2 名の連絡先

氏名、所属、職、メールアドレス、電話番号を記述したもの

12. 応募費用 応募者が選考を受けるために必要とした費用は、全て応募者の負担とする。

13. 締 切 令和 8 年 9 月 30 日（水）必着

14. 選考方法 応募書類による 1 次審査、および面接による 2 次審査

15. 送 付 先 本公募は、応募書類をデータ（PDF ファイル）にて提出する。
- ・応募の際は、以下のメールアドレスに 9 月 16 日（水）までに連絡すること。
- こちらからデータアップロード先 URL をメールにて通知する。
- ・応募書類受け取り後、3 日以内に受信確認のメールを送信する。
- 受信確認が届かない場合は、公募窓口へ問い合わせること。
- 連絡先メールアドレス： koubo2026@arch.kyushu-u.ac.jp
- （九州大学大学院都市・建築学部門 公募窓口）
16. そ の 他 提出書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しない。
17. 問合せ先 九州大学大学院都市・建築学部門 公募窓口
- E-mail：koubo2026@arch.kyushu-u.ac.jp
18. 備 考
- ① 都市・建築学部門の詳細は、<https://www.arch.kyushu-u.ac.jp/> を参照すること。
 - ② 「BeCAT / Built Environment Center with Art & Technology」は、環境をテーマにした建築研究教育センターです。活動内容については、<https://becat.kyushu-u.ac.jp/> を参照すること。
 - ③九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成 11 年法律第 78 号）の精神に則り、教員の選考を行う（男女共同参画推進室 <https://danjyo.kyushu-u.ac.jp> 参照）。
 - ④九州大学では「障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）」の趣旨に則り、教員の選考を行う。
 - ⑤九州大学では、平成 29 年 7 月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。選考条件等の詳細については九州大学男女共同参画推進室ホームページ（<https://danjyo.kyushu-u.ac.jp/notice/view.php?cId=2600&>）を参照すること。
 - ⑥過去にセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容およびその具体的な事由を履歴書等に必ず記載すること。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがある。
 - ⑦九州大学では、教員・研究者の研究環境向上のための支援を実施しています。
- ・研究費獲得支援
 - ・研究費獲得支援プログラム
 - ・国際的研究費獲得支援 他
 - ・主に若手研究者を対象とした支援
 - ・研究スタートプログラム
 - ・研究機器・設備の共用体制整備 他
 - ・出産・育児などのライフイベントに伴う研究継続支援
 - ・学内保育施設（ひまわり保育園、たけのこ保育園）
 - ・ベビーシッター利用補助制度 他

上記以外の支援や制度詳細は、九州大学 HP をご覧ください。

九州大学 HP > 九州大学について > 教員・職員公募情報 > 研究者支援制度一覧

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/career/support>)

以上